

## 「5つの誓い」～腰塚勇人「命の授業」より～ 校長講話 2/24(水)

今年度最後の校長講話がありました。「命」をテーマにした話でした。

～以下講話からの抜粋～

～もし、自分が東日本大震災や軽井沢で起きたバス事故などの大きな災害や事故に出会ったらどうだろうか。今日、このように当たり前のように生活していることがどれほど幸せなことか、人は自分が災害や事故にあったとき、初めてそのことに気がつきます。そして「命」というものについて、改めて考えるのです。

腰塚勇人さんは、大学卒業後中学体育教師になり学級担任やバスケットボール顧問として充実した日々を送っていた。ところが2002年人生を変える事故に遭う。スキーで転倒し首の骨を折ったのだ。奇跡的に命は取り止めたが、首から下が全く動かなくなり、医者からも「一生寝たきりか、よくて車椅子の生活」と言われる。「人生が終わった。一生寝たきり。車椅子の生活。子どもたちの前には戻れない。」と、生きる希望を失い絶望した。しかし、奥さん、両親、お医者さん、看護師さん、生徒たち、職場の同僚など、多くの人たちの応援や励ましを受け、奇跡的に回復していく。腰塚さんは「下半身と右半身の麻痺」など身体に障害を残しながらも、4ヶ月で現場に復帰し、中学3年生の担任を務めることができた。

そうなれたのは、自分の考え方・受け取り方を変えたただけだった。「神様は自分を殺さずに生かしてくれた。生かされた命を自分のために人のために使いたい。」「命の尊さ。命の大切さ。仲間大切さ。生きることの素晴らしさを伝えたい。」「自分をこの世に生んでくれた両親、自分を支えてくれているあらゆる人たちに感謝しよう。」と。

腰塚さんは学校に復帰するとき、「5つの誓い」を決めた。

- 1、「口」は・・・  
人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- 2、「耳」は・・・  
人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- 3、「目」は・・・  
人のよいところを見るために使おう
- 4、「手足」は・・・  
人を助けるために使おう
- 5、「心」は・・・  
人の心の痛みがわかるために使おう



腰塚 勇人さん



この「5つの誓い」を初めて目にしたとき、今まで自分（校長先生）は「口」「耳」「目」「手足」「心」をどのように使ってきただろうか。どれだけ人のために使ってきたのだろうか、と振り返らざるを得ませんでした。

先週児童総会がありました。6年生は今年一年、自分のためばかりでなく、屋代小の仲間やお父さんお母さんなど家族のために、地域の方々など多くの人達が喜んでくれるように、幸せな気持ちになってくれるようにと、児童会の活動を頑張ってきてくれました。6年生は「口」「耳」「目」「手足」「心」を、周りの大切な人達のために使ってくれました。

神様からいただいた命です。私も（皆さんも）、腰塚さんのように「5つの誓い」を思い出して生活していきましょう。卒業式まであと16日。来週は6年生を送る会（3/4）です。春が一步一步近づいてきています。「早春賦」（ハーモニカ）を聞いてください。

## 思いを引き継ぐ児童総会！ 新児童会発足！ 2/15



2月15日に第2回児童総会が行われ、児童会長・各委員長から一年間の活動報告が行われました。それぞれの委員会の取り組みが、充実したものになったことがよく伝わってきました。山本愛美児童会長を中心に「あいさつ、笑顔、協力、すべてが〇になる屋代小」

というスローガンのもと、6年生が全校をよく引っ張ってきてくれました。6年生の皆さん、一年間本当にご苦労様でした。

新児童会長になった北澤花瑛さんもあいさつをしました。「全校のみんなが協力して、大きな笑顔をつくれる屋代小にしたい。」と、目標を力強く発表しました。そして6年生から5年生に児童会が引き継がれました。きっと来年も、屋代小児童会の伝統をつなぎ、さらに充実した活動になっていくことでしょう。

## 公開参観日ありがとうございました。 2/4~2/23

5年生から始まった公開参観日ですが、2月23日の6年生を最後に全て終了しました。一年間の学習のまとめを中心とした発表でしたが、たくましく成長されたお子さんの様子を参観することができたと思います。6年生は学年で合唱と呼びかけをし、家の方々に感謝の気持ちを伝える手紙を発表していました。6年間の歩みの重みと卒業を間近にした思いが伝わってきました。今年も残りわずかになってきました。しっかり学年のまとめをしていきます。